注）１．セグメントの区分方法
　　セグメントを業務に応じて、医学部附属病院、歯学部附属病院、その他と区分し、各区分に配分できない業務費用、業務収益、帰属資産は、法人共通として区分しております。
注）２．業務費用のうち、法人共通は各セグメントに配賦しなかった費用及び配賦不能の費用であり、その主なものは役職員人件費、一般管理費及び補助金事業（教育経費、研究経費、人件費、一般管理費）で、それぞれ1,608,416千円と574,639千円と1,641,089千円（429,124千円、836,414千円、4,527千円、241,660千円、129,363千円）です。
注）３．帰属資産のうち、法人共通は各セグメントに配賦しなかった資産であり、その主なものは預貯金及び建設仮勘定で、それぞれ18,878,549千円と9,349,497千円です。
注）４．目的積立金の取り崩しを財源とする費用は、669,448千円発生しております。
注）５．附属病院セグメントにおける運営費交付金収益は、附属病院に関し国が予算積算した運営費交付金を収益化した場合の相当額と、医学部附属病院については937,034千円、歯学部附属病院については1,022,274千円差額がありますが、これは本学の運営費交付金に係る内規によって算出した額を収益計上したことによるものです。
注）６．業務損益のうち、法人設立時に国から承継された診療機器等に係る資産見返物品受贈額戻入による影響額は、医学部附属病院で59,233千円、歯学部附属病院で27,077千円です。
注）７．業務損益のうち、附属病院に関する借入金元金償還額と対応する固定資産に係る減価償却費との差額による影響額は、医学部附属病院で2,856,384千円、歯学部附属病院で159,341千円です。
注）８．　各セグメントにおける損益外減価償却相当額、引当外退職給付増加見込額及び引当外賞与増加見込額は以下のとおりです。

（単位：千円）

区　　分	医学部附属病院	歯学部附属病院	そ　の　他	小　　計	法　人　共　通	合　　計
損益外減価償却相当額	36,143	1,331	1,283,340	1,320,815	107,363	1,428,178
損益外減損損失相当額	—	—	—	—	92	92
引当外退職給付増加見込額	14,567	3,986	133,491	152,044	83,702	235,747
引当外賞与増加見込額	△　42,424	△　5,540	△　72,807	△　120,772	△　4,050	△　124,823

⑲　寄附金の明細

（単位：千円）

区　　分	当期受入(千円)	件数（件）	摘　　要
そ　の　他	1,238,911	1,801	うち現物寄附　275,607千円　1,154件
医学部附属病院	59,644	73	うち現物寄附　10,958千円　25件
法　人　共　通	61,818	20	うち現物寄附　755千円　2件
歯学部附属病院	12,806	41	うち現物寄附　9,966千円　38件
合　　計	1,373,180	1,935	

⑳　受託研究の明細

（単位：千円）

区　　分	期首残高	当期受入額	受託研究等収益	期末残高
医学部附属病院	199,477	196,219	132,643	263,053
歯学部附属病院	90	25,651	7,880	17,860
そ　の　他	9,285	1,383,107	1,368,902	23,490
法　人　共　通	—	78	64	14
合　　計	208,852	1,605,056	1,509,490	304,418

㉑　共同研究の明細

（単位：千円）

区　　分	期首残高	当期受入額	受託研究等収益	期末残高
そ　の　他	57,288	233,911	225,276	65,923
医学部附属病院	—	2,554	1,134	1,420
法　人　共　通	—	2,980	920	2,059
合　　計	57,288	239,446	227,331	69,403

㉒　受託事業等の明細

（単位：千円）

区　　分	期首残高	当期受入額	受託事業等収益	期末残高
法　人　共　通	160,902	53,001	50,567	163,335
歯学部附属病院	1,382	11,861	7,933	5,310
そ　の　他	1,133	34,588	34,378	1,342
医学部附属病院	—	6,630	6,630	—
合　　計	163,418	106,081	99,510	169,989